

みんなの町議会



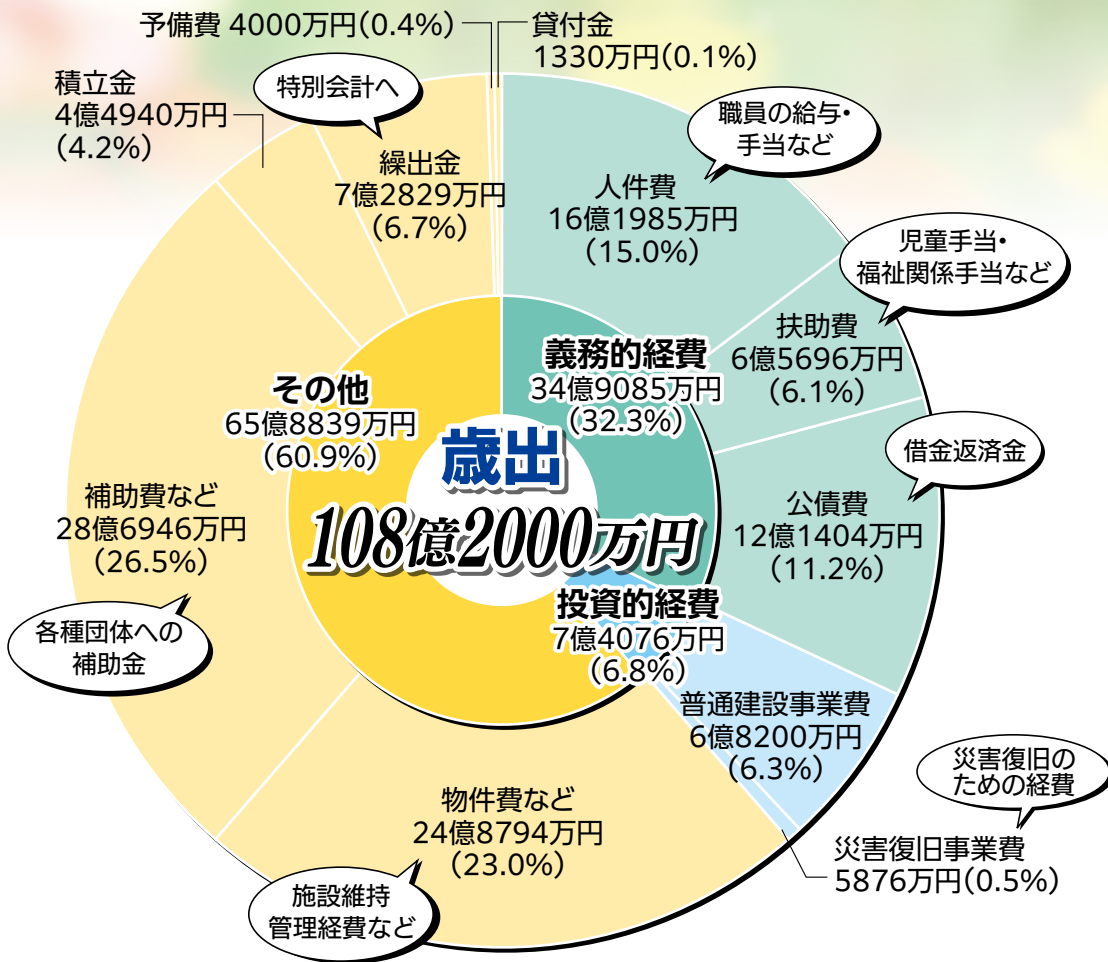
放て希望のシュート!!

| | |
|----------------------|----|
| 令和8年度注目の事業 | 4 |
| 町政のココを問う(一般質問) | 12 |
| ありやあどうなったん? | 21 |

くりを目指して

一般会計
108億2000万円

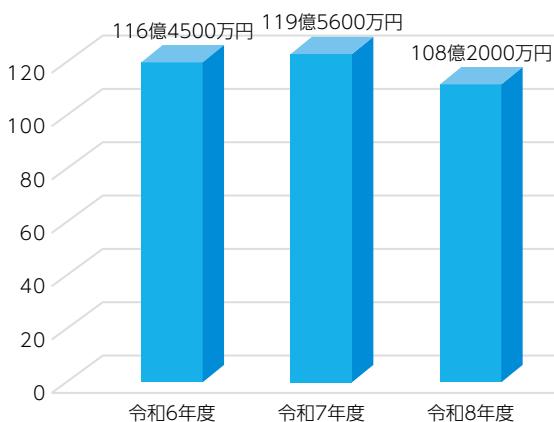
前年度比 (△9.5%減)
11億3600万円減額



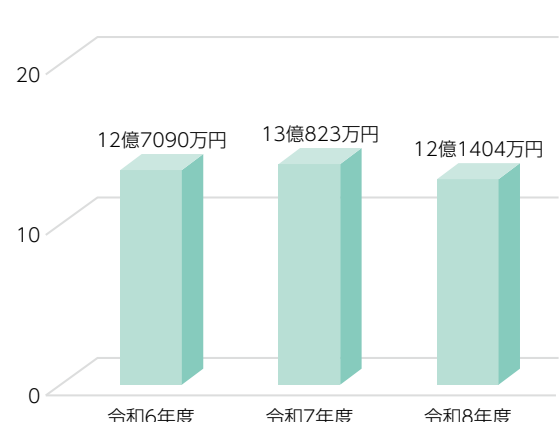
()は少数第2位を四捨五入したため合計が合わない場合もあります

3月定例会
3月定例会は、3月3日に開会し、3月19日に閉会しました。町長の施政方針や第4次神石高原町行政改革プランに基づいた令和8年度一般会計当初予算案などが上程され慎重審議し、議員発議を含む94議案いずれも可決しました。一般質問では、9人の議員が町政課題など質(ただ)しました。

一般会計予算の推移

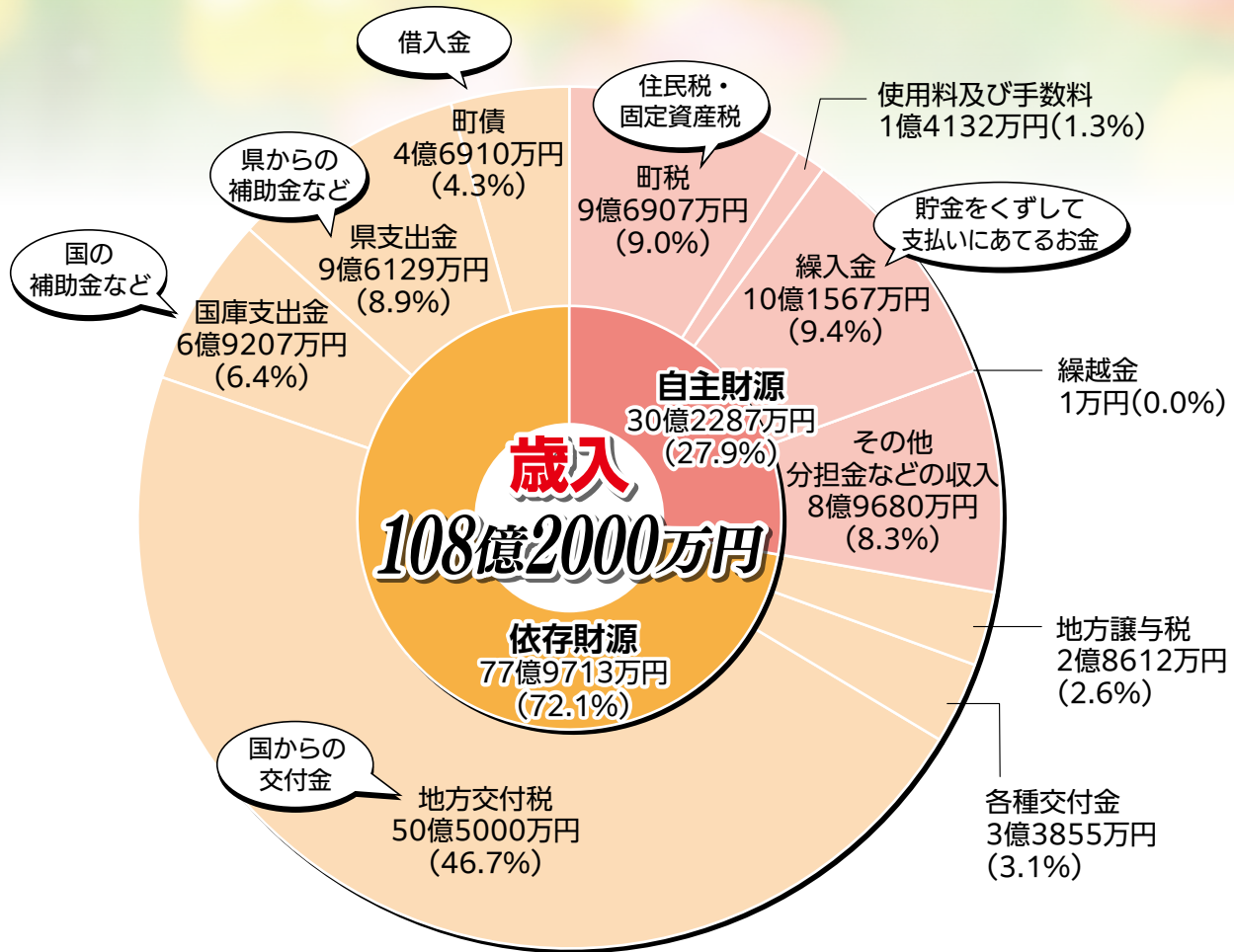


公債費の推移



持続可能な町づくり

令和8年度 予算 全会計 **149億6765万円** 前年度比 (6.7%減) **10億7678万円減額**

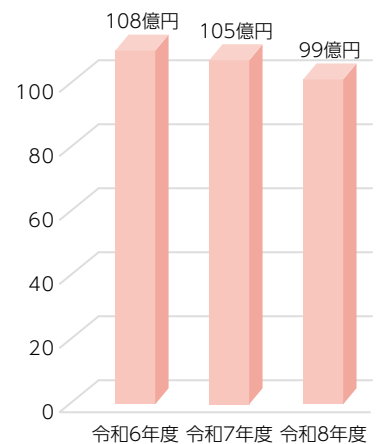


令和8年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

| 会計名 | R8年度 | 前年度比較 |
|------------|----------|-----------------|
| | 当初予算額 | 増減額 (増減率) |
| 一般会計 | 108億2000 | △11億3600(9.5%減) |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険 | 9億6106 | △1244(1.3%減) |
| 後期高齢者医療 | 4億4800 | 5215(13.2%) |
| 介護保険 | 18億5289 | △2281(1.2%減) |
| 飲料水供給施設事業 | 4059 | △19(0.5%減) |
| 分収育林事業 | 10 | 10(皆増) |
| 計 | 33億264 | 1681(0.5%) |
| 企業会計 | | |
| 病院事業会計 | 5億2397 | 3038(6.2%) |
| 農業集落排水事業会計 | 3億2104 | 1203(3.9%) |
| 計 | 8億4501 | 4241(5.3%) |
| 合計 | 149億6765 | △10億7678(6.7%減) |

基金総額の推移



注目の事業

のまちづくり

生活交通機関確保事業

ふれあいタクシー制度などの改正 5月1日～

* 利用料金（自己負担額）の見直しとマイナンバーカードでの利用者確認

町内医療機関への通院

600円 → 800円

その他の利用

900円 → 1200円

9人乗りは現行どおり利用料金

3000円(最大)

* 利用回数の見直し

1人10回/月まで

①人工透析を必要とする者

②医師の診断などにより、月10回以上の通院を必要とする者（医師の診断書が必要）

* 町外医療機関通院者支援事業は変更なし

③マイナンバーカードで利用確認できるようにするための経費

料金改正するふれあいタクシー



1億698万円

消防自動車等購入事業

車両の老朽化に伴う更新

神石高原町消防団 神石方面隊第1分団第3部（草木）

R8.10で28年経過

小型動力ポンプ付積載車 1台



1499万円

草木地区に配備される積載車

スクールバス運行経費

車両の老朽化に伴う更新

余剰の車両を2台減らし新たに1台の更新をする

町有バスの運行

〔16コース〕

バス停設置補助他

1億505万円



スクールバス更新

めざせ 共生・協働

農業の企業誘致

強い農業づくり
総合支援交付金事業

みどりの食料システム戦略を活用した農業参入支援
雇用の場の創出を図る



ミニトマトのハウス建設予定地
(光信寺の湯ゆっくら付近)

大成ファーム株式会社（三原市）

ハイワイヤー方式のトマトハウスでミニトマトを栽培。

三原市では7月定植、9月～翌6月収穫

神石高原町4月定植、6月～翌3月収穫

することで周年栽培を実現する。

バイオマス発電所からの熱源を利用する予定

雇用：20人程度を想定

みどりの食料システムとは、化学肥料不使用
な栽培を広めるもの

2億6134万円

予防接種事業

高齢者インフルエンザワクチン接種有料化

令和7年までは神石高原町では無料だった

自己負担額 **1600円**（接種費用の3割）

保険がない場合：ワクチン接種費用は5240円/回

対象者

- ・65歳以上の者
- ・60歳～64歳で心臓など機能に障害を有する者



自己負担額を除くと3640円

対象者4007人に対し接種率72%

3640円×2890人

予算額1070万円

令和8年度 当初予算

予算をチエツク

総務課

有害鳥獣関連予算

山本議員

有害鳥獣駆除対策事業費としてテゴス（広島県鳥獣対策等地域支援機構）に加盟し、予算額は860万円余り。大変有利な特別交付税を財源として検討できないか。

町長

特別交付税は災害や過疎化など実質的な国の財源支援で、普通交付税では対応しきれない突発的・固な財政需要に対しての財源である。



廃止されるワナ免許の取得助成金

山本議員

有害鳥獣駆除対策協議会経費及び有害鳥獣被害防止対策補助経費は合計108万円余り減額されている。

助成金の廃止など、猟友会会員の高齢化による担い手養成には逆行するが見直しは。

町長

予算削減の具体例として銃免許及び銃購入助成金2割カットやワナ免許

予算編成と住民要望
林議員
住民や各団体からの要望は、新年度予算にどのように反映されたか。
総務課長
将来世代に負担を残さないでほしい。という意見を重く受け止め、前年度比10億円の削減を行った。

ジシツブ広島を構築。現在、15市町18人となっている。町としても行政DX推進のために参画する。

林議員
県と連携するデジタル広島の費用対効果は。
総務課長
県内自治体と連携したシステム導入により、住民の皆様が「便利になった」と実感できるデジタルサービスの提供を目指す。

柏床議員
予算額1064万円は全額県への負担金か
総務課長
県から職員を派遣してもらったので、人件費相当額を全額県へ納めるもの。

柏床議員
デジタル人材を3年間派遣すると聞いているが、どれだけ経費の節減ができるか。
総務課長
県からCO補佐官として派遣を受ける。一番の期待は※ベンダーの見積を精査し、委託料の圧縮できる部分があると思われる。

デジタル広島へ参画

上原議員

デジタル広島とは。

総務課長

デジタル関連事業として県で人材確保し、育成をする2023年2月から進めている。県市町で人材を共有するためのプラットフォームとしてデ

小川議員
防災食などを格安に売却するなどした、ローリングストックの考え方は。
総務課長
売却は、先進事例を研究し検討する。
※ベンダー
IT関連の製品やサービスを提供する企業

災害対策経費

ふれあいタクシー事業

上原議員

「コスト高による対応と今後の見通しは。」

総務課長

生活交通機関確保事業の予算の総額は1億円を考えている。コスト高の対応として、予算の中でふれあいタクシー事業が約6割を占めており、利用料金と利用回数を見直す。

①通常利用900円を1200円に②通院600円を800円に値上げする。
利用回数は、月20回を10回に変更する。

柏床議員

利用者の多くは高齢者であり年金生活者が多い。33・3%の値上げは負担が大きい。激変緩和措置は考えられないか。

総務課長

激変緩和措置の検討は行ったが、町の負担が大きくなってきているので、一定の受益者負担をお願いすることとした。

林議員

運賃の値上げや利用回数の制限による生活への支障は。

総務課長

利用者の約8割は月4回以下の利用であり、回数制限の影響は限定的と考えている。

ただし、人工透析などの通院で頻繁に利用される方については、現行の月20回を維持する。

寄定議員

ふれあいタクシーのDX化にはマイナンバーカードの活用とあわせ、配車システムを導入すべきでは。

総務課長

配車システムも含め、将来的に効率的で持続可能な公共交通を検討したい。

政策企画課

神石高原 チャレンジファンド

上原議員

運営補助費820万円の使途は。

政策企画課長

融資額を除いた金額で財団の人件費である。

町紹介・PR事業

藤井議員

地域おこし協力隊の活動内容は。

政策企画課長

インスタグラムを活用し、『神石日和』で本町での暮らしや自然の魅力をPRしている。

非常備消防 一般管理経費

小川議員

消防団の組織再編の進め方とスケジュールは。

総務課長

事務局側で早急に案を示し、消防団で検討する。意見を集約した後、条例案に反映する。期限は設けない。

関係人口創出事業

藤井議員

「恋人の聖地」広域市町村連携によるパッチャルコンパクトシティ事業の内容は。

政策企画課長

恋人の聖地を有する全国14自治体が連携し、観光交流や移住促進、関係人口拡大を目指す5年間の地方創生事業である。

未来創造課

男女共同参画推進経費

藤井議員

審議会などにおける委員の配置を男女半々にすべきでは。

未来創造課長

国や県を参考に、令和12年度の女性参画率30%を目指す。

協働支援センター事業

林議員

各協働支援センターで地域ごとの活動に格差は生じないのか。

未来創造課長

活動内容に差異が出るのは地域力の表れと考えている。町としては、2ヶ月に1回の連絡会議を通じて、情報交換と公共性の確保を図っている。



方面隊ごとに整列した出初式

横尾議員

令和6年度の協働支援センターの運営管理経費が令和7年度3月補正で1649万円減額されているが理由は。

未来創造課長

令和6年度分の繰越金
が、令和7年度に判明したために減額補正した。

健康衛生課

インフルエンザワクチン
接種事業

柏床議員

新年度から高齢者等インフルエンザワクチン接種事業が無料から自己負担3割とする根拠と非課税世帯の対応は。

また、結果として受診控えにならないか。

健康衛生課長

一般の医療保険の自己負担割合が3割であること、県内の負担状況を総合的に勘案して、事業継続のために適切な負担水準とし、非課税世帯も同様の負担とした。

受診控え、接種率の低下は厚生労働省の資料では10%程度低下する予測がある。

水道広域連合企業団
負担金

小川議員

水道管の老朽化対策は。

健康衛生課長

铸铁管は強度があるが老朽化して折れやすいので、耐震性のあるポリエチレン管に順次入れ替えを計画している。
現在、82・5%は交換済みである。

成人保険事業

寄定議員

中学生を対象としたピロリ菌検査の中止理由と新しい胃がん対策への取り組みは。

健康衛生課長

陽性率は、1.38%と低下しており次のフェーズに移行し、母子感染経路を遮断する対策に注力すべきと考える。

医療従事者奨学金
貸付事業

小川議員

現在、従事されている人へステップアップの助成事業ができないか。

健康衛生課長

町立病院ではクリニックラダーというステップアップ支援をしている。

やすらぎ苑施設経費

小川議員

やすらぎ苑西側の駐車場は舗装できないか。

健康衛生課長

東側の駐車場だけで会葬者の対応ができていないと考えている。

子育て応援課

子育て応援事業
(祝い金の改定)

林議員

誕生・入学祝い金の削減の影響と支援策は。

子育て応援課長

直接的な祝い金は減少するが、持続可能な行政



老朽化により漏水した水道管（井関地区）



のり面の管理・草刈りが必要な、やすらぎ苑西側駐車場

運営を行うことで、将来にわたって子育て環境を維持する。

産業課

ひろしまの森づくり事業

藤井議員
令和8年度からの予定は。

産業課長

里山林整備事業など年度ごとに公募を行い、防災・減災の観点から緊急性の高い要望を優先して整備する方針である。

地域営農体制支援事業

柏床議員

農業機械の導入補助は

耐用年数か。新規就農の場合は。

産業課長

農機具更新の基準は、税制上の耐用年数7年である。

新規就農者の場合は初期投資を支援・抑えるため5年以内は補助率30%としている。

採択要件は、1機種50万円以上で町内業者からの購入が条件である。

園芸施設整備補助金交付事業

柏床議員

ビニールハウスの一般農家の採択条件は。

産業課長

一般農家、Uターンの場合、ビニールハウス1a以上が採択基準となっている。

この事業の補助率は2分の1。

工場等設置奨励事業

小川議員

社員寮への利用は可能となったか。

産業課長

働く場所を誘致するための事業である。寮などは別事業となるので、今後検討する。

源流の里維持再生事業(DAOの活用)

林議員

デジタルコミュニティ「DAO」のシステム利用料や導入メリットは。

産業課長

システムの利用料は無料だ。遠方に住む方もデジタル上で繋がりを持つことで、町の特産品開発や関係人口の創出に繋げるメリットがある。

有害鳥獣対策(テゴスの活用)

林議員

専門組織「テゴス」の常駐による具体的な効果は。

産業課長

非常に大きな効果が出ている。導入前の令和5年度と比較し、令和6年度は被害面積が約51%減少し、被害金額も約52%減少した。

登記変更の不備

横尾議員

(有)さんわ182ステーションの役員変更の登記が長い間変更されず、罰金を支払ったと聞かすが、本当か。

町長

先般の取締役会において報告があった。この件は代表取締役にしつかり伝えておきたい。

観光団体育成補助金

久保田議員

町観光協会職員の横領事件があったが、町民への説明責任は。

副町長

町は説明をしない。主体的な判断に任せるが内容によっては、協会を指導する。

久保田議員

観光協会へ新年度人件費4名分1820万円計上してあるが、3名で活動できないのか。

産業課長

4名分を計上しているが、現在3名で新たに職員を雇用するか観光協会と協議する。

リ・クリエイト・ベース

久保田議員

喫茶軽食部門の誘致はどうか。

産業課長

指定管理者が決まれば、契約は指定管理者が契約し、施設使用料は指定管理者が収納する。



リ・クリエイト・ベース

建設課

住宅・建築物安全
ストック形成事業

小川議員

自分でできる住宅の耐震診断は。

建設課長

ホームページに「誰でもできる耐震診断」のリンクを案内している。

教育課

小学校校舎
施設管理経費

柏床議員

神石小学校通学路整備の設計委託料の金額の根拠は。



教育課長

県が定めている仕様基準に基づき積算され、設計業者からの見積となっている。

神石小学校通学路除雪

久保田議員

通学路は町道であり除雪は町の責任で行うべきでは。

教育課長

現状は、支所前の町道

は教職員が行っており、西側の通学路はボランティアで自主的に行っている。

久保田議員

教職員には負担となり、町が行うべきでは。

教育課長

町内7校全体の状況もあるので今後検討する。

国民健康保険
特別会計

林議員

令和8年度の子ども・子育て支援金の上乗せ分を、町の基金で補填できないか。

福祉課長

基金はこれまで上昇抑制に活用してきたが、

子ども・子育て支援金

将来の医療費増に備えた安定運営も重要で、バランスなどを考慮し、基金投入については慎重に判断する必要がある。

後期高齢者医療
特別会計

子ども・子育て支援金

林議員

令和8年度から加算される子ども・子育て支援金の影響は。

福祉課長

被保険者1人あたり年間の平均負担額は約2652円増える見込み。ただし、本町は7割軽減対象者が最も多く、その場合は年間401円程度となる。

病院事業会計

病院経営

林議員

今後の経営改善と、赤字が膨らんだ際の対応は。

健康衛生課長

救急や巡回診療など地域に不可欠な医療サービスは確保する。ただし、財政を過度に圧迫する場合は病床の適正化や、診療科の集約も選択肢のひとつである。



救急受入や巡回診療を行う町立病院

令和8年度 一般会計予算

神石高原町初の附帯決議に 議員全員が賛同

令和8年度
予算に対する附帯決議

議員発議

提出者：久保田龍泉
賛成者：全議員

附帯決議

令和8年度一般会計予算の執行にあたり、町政運営のさらなる透明化と住民からの信頼を確保するものにするため、予算執行の条件として強く要望する。

住民合意の徹底と丁寧な説明
町民の理解と納得がなければ、真の成果は得られない。特に重要施策の推進は、双方の対話を重視し、町民とともに歩む姿勢を強く求める。

予算執行の透明性を向上
四半期ごとの詳細な進捗報告を義務付け、常にチェック機能が働く体制の構築を求める。

行財政改革調査特別委員会との連携
各事業の厳正な検証結果を報告するなどの意思疎通を緊密に図り、次年度の予算編成に確実に反映させることを強く求める。

国民健康保険特別会計

子ども・子育て支援金の拠出に対して

反対討論

1人

林 憲志議員

本案は、国民健康保険に加入する住民にさらなる負担を強いるものであり反対である。物価高騰に苦しむ住民へ「子ども・子育て支援金」をそのまま転嫁する姿勢は容認できない。
町には約3・2億円の国民健康保険財政調整基金がある。今回の増税分はその1・1%に過ぎず、基金を活用して住民負担を据え置くことこそが、生活基盤を守るべき自治体の政治責任であると確信する。

賛成討論

8人

小川 善久議員

本予算案は制度の安定維持と責任ある財政運営のために適切である。主な理由は以下の3点である。
制度の持続性 高齢者らを支える国民健康保険制度を維持するため、単位の税率調整は不可欠である。
将来世代への配慮 医療費増大の中、将来へ負担を先送りせず、公平性を確保しつつ一定の負担を求めることは妥当である。
適切な基金運用 基金は不測の事態や急激な財政変動に備えるためであり、安易に取り崩すものでない。

議員賛否表 (賛否の分かれた議案のみ)

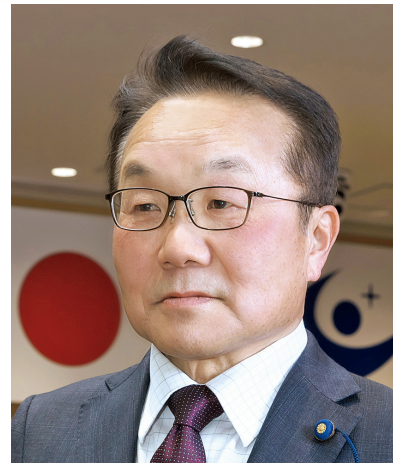
○=賛成 ×=反対 欠=欠席

| 議案名 | 寄定 秀幸 | 久保田龍泉 | 横尾 正文 | 林 憲志 | 小川 善久 | 柏床 由夫 | 山本 喜久 | 藤井 潤子 | 上原 伸一 | 橋本 議長 |
|---------------------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国民健康保険税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 介護保険条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 国民健康保険特別会計 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 後期高齢者医療特別会計 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 財産の無償貸付 (旧切田堆肥センター) | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

議長は裁決に加わらない

問 住民に対する説明責任は

答 協働支援センターの幹事会にて



よこお まさふみ 議員
横尾 正文

問 リ・クエイト・ベイスの経緯と住民に対する説明責任は。

答 町長 運営事業者側における経営資源の制約や事業計画の変更などが生じたことにより、撤退に至った。

令和8年3月開催される油木協働支援センター幹事会の場において説明する。

福山シティFCユース

問 福山シティFCユース事業の進捗状況は。

答 町長 今年から県外生徒7名が3学期よ

り神石高原中学校へ転校し、神石侍寮で生活している。
また県内生徒を含めたユース生は、4月から油木高校に通い、サッカーの練習を行う予定。

ふれあいタクシー事業

問 マイナンバーカードを活用したDXの導入内容は。

答 町長 このシステムは、「ふれあいタクシー利用者証」をデジタル化し、マイナンバーカードのICチップを活用して乗車認証を行うものである。

システム導入のメリットとしては

- ①乗車認証の円滑化
- ②事務作業の効率化
- ③交通施策への利活用

蓄積された移動データを「見える化」し、実績データを解析することで、

いじめや不登校対策は

問 具体的な対策は。

より住民のニーズに即した交通制度の構築に活かすことである。

答 教育長 いじめや問題行動、不登校への未然防止の観点から、日頃より児童生徒にかかわる場面を増やすことやアンケート調査、個人面談の実施、相談しやすい環境づくりなどを行い、必要に応じた指導を行っている。

また、相談窓口を紹介し、児童生徒がいつでも悩みなどを伝えて早期対策に努めている。

空き家対策は

問 町内の空き家はどのくらいあるか。特に

所有者がわからない物件の所有者を郵便網で追跡し、対処できないか。

答 町長 町内空き家の総数は、1253件、所有者不明空き家は、32件ある。

「郵便網を活用した所有者追跡」は、現状を打破できる有効な手段になりえる。令和8年度からは、「管理不全空き家」

まで情報提供の範囲が広まり、早期解決に効果があると考えている。



マイナンバーカードを活用した乗車認証



久保田龍泉 議員

問 ふれあいタクシー料金はどうなる？

答 1回利用は200円～300円値上げ予定

問 ふれあいタクシーの利用料金は現状維持されるか。

答 町長 タクシー会社の料金引き上げがあり自己負担額の見直しをした。

町内医療機関の通院は600円から800円、通常利用は900円から1200円に引き上げる。利用回数は月20回の上限を月10回に見直す。

問 病院利用者の料金引き上げは受診控えにつながる。せめて月20回利用は据え置きにできないか。

答 町長 医療機関通院は透析患者などには配慮して20回に据え置く。

中学校の給食費は

問 小学校給食費は国の政策で無償化に踏み切るが、食材費が国の補助を上回った場合町費での負担をするのか。

又、中学校への拡充は考えていないか。

答 町長 食材費が国の補助単価を上回った場合、町が負担するので保護者の方には負担は求めない。

中学校給食は国の財政支援の動向を注視し本町の財政状況を勘案し慎重に前向きに判断する。

通学路整備は

問 神石小学校の通学路の法面測量、地盤調査の内容は。

答 教育課長 大規模盛土工の対策として、翌年度以降盛土工制法に基づき法面整備をする。

問 通学路の除雪はボランティアでされている。保険加入は。

答 建設課長 業者に確認すると県道を優先し通学路は昼頃になる。保険は自治振興会で購入してもらう。

農業企業誘致

問 農業分野の企業誘致で町の財政負担はあるか。

答 町長 企業は大成ファーム(株)で光信寺の湯ゆつくら付近の圃場にミニトマトを栽培する。約5億円の投資を予定しており、半額は国の補助金で町の負担はない。

いずみ保育所の送迎は

問 いずみ保育所児のスクールバス混乗について保護者との協議結果は。

答 町長 120万円かかる経費の半額を補助すると提案している。現在保護者会で議論・討論されている。

宿泊税の用途

問 宿泊税を活用し神龍湖のゴミ撤去費にあてられるか。

答 町長 交付金は150万円を予定する。コロナ禍で減少した観光客をキャンプ場へ誘致するため、有名なユーザーバーを起用して誘客を図る事業へ使用する計画でいる。ゴミの撤去など拡充の事業は、関係機関と協議が必要である。



スクールバスを活用し、神石小学校に通う児童

問 インクルーシブ保育の取り組みは

答 誰一人取り残さない保育を



よりさだ ひでゆき 議員
寄定 秀幸

問 令和9年度から、こばたけ保育所で「インクルーシブ保育」を導入する予定であるが、目的と具体的な取り組みは、

答 町長 導入の目的は、障がいのある無や発達特性、家庭環境などにかかわらず、すべての子どもが同じ環境で生活し、育ちあう体制を整備することである。

将来的には、医療的ケア児の受け入れ態勢整備を視野に入れ、「誰一人取り残さない」保育環境の構築を目指す。

問 看護師や保育士の確保と遊具や施設改修は、

答 町長 インクルーシブ保育の実施にあたっての看護師や保育士などの職員の確保や配置は、民間事業者が行う。遊具や施設は無償で貸付の予定である。

児童発達支援や医療的ケアが必要な子どもの受け入れで施設改修が必要であれば対応を検討する。

さらに、地元食材や耕作放棄地の活用や地域住民との交流など地域との関りや、地域資源の活用についても重視し、本町ならではの特色ある取り組みをして、保育を通じて地域活性化にもつなげていきたい。

フレイル予防の新たなポイント制度は

問 フレイル予防として新たなポイント付与事業の基本構想と具体的な取り組みは、

答 町長 フレイル予防は、健康長寿のまちづくりを進めるうえで、

きわめて重要な柱である。65歳以上の町民を対象に、自発的健康づくりや外出機会の増加などに取り組んだ実績に応じてポイントを付与し、一定数に達した場合に奨励金として還元する仕組みである。

対象活動は、

- 通いの場への参加
- 出前健康講座への参加
- 健康づくり活動
- 地域活動への参画などを想定。

65歳未満の人については、地域の担い手の拡大・育成の観点から、通いの場の世話人などを対象にポイント付与を検討。

ポイント管理は、町公式LINEを活用したデジタル管理を基本とし、あわせて高齢者のデジタル活用促進を図る。

また、高齢化が進行する中、健康寿命の延伸と地域で支えあう体制づくりが重要となっている。

○外に出る
○人とつながる

○自分の健康を意識する
こうした行動変容を後押しすることで、フレイル予防や認知症予防を推進し、地域全体の活力向上につなげていく取り組みであり、令和8年10月1日から実施予定である。

健康長寿のまちづくりの意義は

問 健康長寿のまちづくりは幸福度の向上に直結すると考える。町長の考えは。

答 町長 本町がめざす健康長寿とは、社会と関わり、「自分は地域の一員として役割を果たしている」と実感できることこそが、心身の健康を支え、医療や介護の重荷を軽減し、健康長寿のまちづくりを進めていく。



令和9年度から民営化で、インクルーシブ保育に取り組む、こばたけ保育所

今後も、フレイル予防、包括ケアの充実、通いの場の活性化を通して、誰もが自分らしく輝き続けられる神石高原町ならではの「健康長寿のまちづくり」を進めていく。

※「インクルーシブ保育」とは、障がいのある子ども、ない子ども、同じ場で共に育ち合う保育のこと。

問 人口減少対策について

答 帰りたい場所づくりに取り組む



かみはら しんいち
上原 伸一 議員

問 やりた
い仕事が無
い問題への解
決策は。

答 町の強み
である光ファ
イバー網とサ
テライトオ
フィスを基盤
にテレワーク
やオンライン
で若者が「稼
げる」「これまでのキャ
リアを続けられる」「仲
間がいる」と実感できる
環境を整えることが「働
く場所」の大きな柱にな
ると考えている。

問 「帰りたい場所」を
つくるには。



移住者によりリノベーションされた部屋

答 町長 本町にとって
非常に重要だ。
単に実家があるから帰
るのではなく「自分の拠
点を持てるから帰る」と
いう動機づけを、町とし
て後押しできるかが課題
だ。

問 具体的な構想は。

答 町長 空き家の活用
について自分のセン
スでDIYやリノベ
ーションを楽しみながら、
自分らしい拠点をつくる
ために、空き家情報提供
に加え、専門家の助言な

ど、若い世代が使いやすい
形に再生した空き家の
マッチングを進めている。
そして、起業や新しい
挑戦への支援に地域おこ
し協力隊制度を活用する。

問 多世代や移住者との
コミュニケーションは。

答 町長 しがらみの懸
念払拭と風通しの良
いコミュニティをつくる
には、多世代・移住者との
意見交換会や交流会も
大切な手段である。

問 具体的な交流会はあ
るか？

答 政策企画課長 郡友
会や町友会などへ情
報発信をしている。

施政方針について

問 林業分野における力
強い産業の再生と活
気ある地域経済は。

答 町長 森林環境譲与
税を最大限活用する。
作業道の補強や防災・減

災のための里山整備・間
伐などの事業と「造林事
業」を重点施策と位置付
けている。

問 商工分野は。

答 町長 商工会を通じ
て「課題解決支援事
業補助金」を交付してい
る。町内経済の活性化に
寄与する。

また、「移動販売事業
者」に対する支援にも引
き続き取り組む。

問 農業分野は。

答 町長 異業種からの
参入も十分考えられ
る。「強い農業づくり交
付金」を活用し、光信寺
の湯ゆつくら付近でミニ
トマト栽培をされる大成
ファーム(株)を誘致し地元
雇用を強く要望する。



間伐中の山林

問 関係人口拡大の取り組みの先に

答 未来に可能性を拓けるまちづくり



ふじい じゅんこ 議員
藤井 潤子

問 関係人口の定義と本町における位置づけは。

答 町長 観光客でも定住者でもない、地域に関わる「第3の人口」と定義。

町外の視点やスキルを持つ「共創のパートナー」として重要視している。

問 各課それぞれの関係人口を意識したまちづくりを行うための指針は。

答 政策企画課長 地域おこし協力隊がSNSを通じて「神石高原町での田舎暮らし」を移住してきた者の視線で発信している。



地域おこし協力隊員岩本まなみさんが発信するインスタグラム「神石日和」

答 産業課長 地域おこし協力隊が「黒い雨」を題材に、現在100名弱の参加者を招きDAOの構築をしている。

また、歴史と文化の館志麻利の活用を推進している。

答 未来創造課長 集落支援員として地域コーディネートが、豊松協働支援センターの事業「お試し暮らし」や、油木高校で生徒の相談に関わっている。

問 「住んでよかった」と実感できるまちづくり

答 高齢者が必要とする支援に主体的にアクセルできる仕組みは。

問 町長 地域包括センターでは、個別相談に応じ、心身の状況や本人の意向を踏まえた支援に繋がっている。

社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが住民の困りごとの把握、必要な支援・活動への

問 「通いの場」への移動支援などの助言は、福祉課長 各「通いの場」などの世話人が相談に対応している。

答 町長 第10期高齢者プラン策定に向け、外出・運動・地域活動への参加状況などを調査、集計している。

問 多様化するニーズの調査は。

答 町長 プラン策定に向け、外出・運動・地域活動への参加状況などを調査、集計している。



さんわ総合センターの自己啓発を案内するコーナー

問 若者が本町で生活する環境作りは。

答 子育て応援課長 子育てに伴う負担軽減の支援や、子どもたちの体験充実に取り組んでいる。

問 子育て世代から高齢者までが「住んでよかった」と思える施策は。

答 政策企画課長 アンケート調査を行い、子育て支援、若者定住対策、高齢者支援などについて満足度、重要度の評価分析をしていく。



やまもと よしひさ 議員
山本 喜久

問 元避難所の周辺の安全対策は

答 有利な財源を検討している

問 土砂災害警戒区域にあるため登録をはずされた元避難所の進捗状況は。

答 町長 時安文化センターは、吹付法枠工法を検討し工事費約5000万円。

坂瀬川区民会館についても同様だ。

財源は緊急自然災害防止対策事業費など有利な財源を検討している。

問 荒廃地対策について空き地対策条例の提案をしたが、進捗状況は。

答 町長 空き地対策条例の運営実態などを踏まえ検討したが、行政代執行に至れば数百万円の費用が回収不能となり

結果的には自治体の持ち出しとなる事例も確認される。

責任ある自治体運営の観点から現段階では厳しいと判断。

有害鳥獣対策

問 銃免許取得者の担い手養成が必要だが支援は。

答 町長 銃免許・銃購入の支援は継続する。箱ワナ支援は廃止する。

問 テゴス（県鳥獣対策等地域支援機構）の新たな取り組みと2年間の成果は。

答 町長 神石地区のサルの群れにVHF（発信機）を装着して行動範囲を調査している。

1年目は電気柵の設置方法などの指導が59件で、2年目は165件の指導をしている。

指導を受けた方からは肯定的な意見が85%である。

稼ぐ行政とは

問 企業版ふるさと納税の進捗状況は。

答 町長 令和6年度の税制改正により令和9年度まで延長され「稼ぐ行政」の推進と捉えている。

令和7年度の実績は2月26日現在まで寄附件数45件で金額は1億円近く寄附があり、令和9年度までの延長を最大限に活用し稼ぐ行政を推進する。

問 提案型命名権の進捗状況は。

答 町長 現在の応募は無く、周知に課題があったと認識している。

問 遊休資産・行政財産の活用は。

答 町長 役割を終えた施設の売却や貸付を行い、老朽施設は優先順位をつけて解体の検討する。



裏山が急傾斜地危険区域に指定されている坂瀬川区民会館

問 こばたけ保育所の運営は

答 令和9年4月から民営化



柏床 由夫 議員

問 町立こばたけ保育所で実施予定のインクルーシブ保育の実施計画と実施体制は。

答 町長 令和9年4月より民営化し、民間事業者による民間運営をお願いする予定だ。運営にあたっては、民間事業者との協定により、町も一定程度、運営に關与する「公私連携型保育所」とする予定で進めている。

相手方の運営事業者が決まれば、必要な職種などの人員体制について、運営事業者を採用、配置してもらい、町の職員は、いずみ保育所と本庁舎へ配置予定だ。

問 事業者の応募があったのか。

答 子育て応援課長 3月9日午後5時に締め切った結果、金曜日の夕方一件応募があった。

問 応募事業者の審査会を行うのか。

答 子育て応援課長 現在、書類審査を行ってらっている。一時審査の要件を満たせば、二次審査をしてもらい、合否の決定をしてもらうが、最終決定者は町長となる。

問 運営経費の負担は。

答 子育て応援課長 運営経費の財源は、国費が二分の一、県費が四分の一、町費が四分の一負担となる。

問 町長 3保育所については継続を考えている。

問 医療的ケア児の受入れはできるのか。

答 町長 現行、医療的なケアが必要な子どもさんをお預かりしていない。

今後そういったケアが必要な子どもも、町としては想定している。民間事業者が決定し、医療的ケアが必要な子どもへの対応について、こばたけ保育所での受入れ体制が可能か、次年度において協議を行う。

また、町立保育所としても、ケアが必要な子どもへの受入れについて職員確保や配置など、受入れ体制の在り方を含め、今後検討すべき課題であると認識している。

問 町立3保育所、とよまつ保育所、くるみ保育所、油木保育所は今後も指定管理者制度で運営するのか。



こども誰でも通園制度の児童受入をする油木保育所

誰でも通園制度

問 令和8年度からの誰でも通園制度の対応は。

答 町長 生後6か月から満3歳未満の未就園児を対象に、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位などで柔軟に保育施設を利用できる新たな通園給付として、令和8年度からの実施予定だ。

問 利用に制限があるのか。

答 町長 対象年齢の未就園児に対し、こども一人当たり「月10時間」までを上限とし、1時間当たり300円の利用料をお願いする予定だ。

受け入れは、油木保育所で、保育所開所時間の利用を予定している。



おがわ よしひさ 議員
小川 善久

問 防災意識を高める啓発活動とは

答 林野火災警報時は罰則のある条例

問 防災・減災計画の具体的な内容や進捗状況は。

答 町長 既存の地域防災計画などを見直し、常に最新の災害リスクを反映させることで、実効性の高い体制構築を推進する。

問 実効性の高い体制の具体とは。

答 総務課長 業務継続計画や地域防災計画、それに付随する各種マニュアルを国県の上位計画の変更に対応した見直しとする。

また、令和8年5月下旬に防災気象情報の避難レベルの表示に見直しが行われる予定もある。

問 防災意識を高める啓発活動として、3月1日から火災予防条例の変更点は。

答 総務課長 林野火災注意報・警報のことで、福山地区消防組合の中で改正されたことは林野火災の注意報・警報が発令中は、山林・原野での火入れをしない事など火の取り扱いによるものである。

注意報発生時は努力義務で、罰則はない。

警報発生時は火の制限が義務化され、拘留または30万円以下の罰則が課せられる。

発令は、毎年1月1日から5月31日までの期間で降水量や乾燥状態・強風の有無で判断される。

答 総務課長 製品として売られているが、神石高原町版として、防災士や民間団体などと独自のものを作りたい。

インクルーシブ保育

問 令和9年4月からこばだけ保育所はインクルーシブ保育を導入して民間委託をする。

答 町長 障害の有無や発達の違い、家庭環境や文化的背景などの違いに関係なく、すべての子どもたちが同じ場で共に育つことを目指す。

将来的に児童発達支援事業所の併設も検討したい。

中高連携支援事業

問 中高連携の成果は。

答 教育長 中学生を対象としたアンケート

で、「油木高校に進学したいと思いますか」の項目では、中学校3年生の肯定的評価65%という結果で、油木高校の魅力化などの取り組みによる成果の一つとなっている。

問 このアンケートでは、中学校の保護者で「入学させたい」は30%「どちらかと言えば入学させたい」23%合わせて53%という結果だった。小学生の保護者では、

「入学させたい」9%、「どちらかと言えば入学させたい」31%合わせても40%しかない。

保護者の考え方を変える必要があるのでは。

答 教育長 部活動など中・高校生で連携している事業があるので、中学生の方が高くなっていると考える。

答 町長 アンケートより深く読み取ることで数値を上げるようにしたい。



神石高原町に則した『ファーストミッションボックス®』の導入に期待する

問 諦めない「縮充」への挑戦を

答 「幸せの物差し」を対話で創る



はし けんじ 議員

削減可能性自治体 脱却に向け

問 20〜30代女性に選ば
れるような町へ、戦
略的な事業承継支援が必
要では。

答 政策企画課長 子育
て支援を最優先に、
商工会なども連携し具
体的なアクションを起こ
す事が重要だ。

空き家活用と 第2定住団地の見直しは

問 空き家になってから
では修繕も困難だ。
住んでいるうちから、将
来の利活用を募る「事前
応募制度」などの窓口を。

答 未来創造課長 「家
のACP（将来設
計）」は重要である。
地域での話し合いの場
は必要だが、個別の相談
には柔軟に乗っていく。

問 移住者確保のため、
井関第2定住団地整
備の優先順位を上げるべ
きでは。

答 建設課長 1億円超
の事業費に対し補助
金がなく、現在は橋梁な
どのインフラ修繕を優先
している。

リクリエイト・ベース の運営方針は

問 経営計画の甘さが撤
退を招いたと感じて
いる。

答 地域住民が親しみやす
い場への転換を。
産業課長 反省を活
かし、地域と連携し
た交流・学びの場として
新たな指定管理者を募集
し運営を目指す。

「縮充」に向けた 民意の反映は

問 住民の負担増や切り
捨てにならないか。

答 未来創造課長 デジ
タルツールなども活
用し、多様な声を施策に
反映させ、一朝一夕には
いかないが「幸せの物差
し創り」を行い、納得感
を高める。

予算抑制下での 追加補正は

問 住民要望に柔軟に対
応できるのか。

答 総務課長 財政規律
を守り、緊急性・必
要性を精査し柔軟に対応
する。

給食無償化と「食育の 質」維持について

問 中学校の早期無償化
を。また地産地消の
「高原ランチ」の回数減
による質の低下の懸念は



積雪時に車両の通行が困難な神石小学校通学路

ないか。

答 教育課長 中学校は
財源を検討中。ラン
チの回数は減るが、地産
地消の取り組みを継続し、
教育効果は維持する。

答 教育課長 配送車は
4WDで対応可能と
考えるが、現場の状況は
把握・連携していく。

問 神石小学校東側の坂
道で、積雪時に給食
トラックが登れない事態
が起きないか。

『神石高原事業協同組合』 油木高校から 新卒採用決定!!



令和5年11月2日、8社の出資により「神石高原事業協同組合」が設立した。

「忙しい時期には人手が足りないけれど、一年中雇うのは難しい」という事業者が集まり「組合」という形式の会社を作り、組合で職員を雇用する。

働き手にとっては、マルチワーカーとしてさまざまな職業を経験しながら、自分に合った仕事を選べる。

しかも、社会保険や通勤手当、家族手当、退職手当などは、組合から支払われる。

これは、「特定地域づくり事業協同組合」という国の制度で、人件費の半額（国1/4、神石高原町1/4）が組合に助成される。

組合員数は、20社となった。

頑張れ 社会人1年生!!

高校を卒業し、神石高原町の一人暮らし。これからいろんなことを経験して、楽しんでください。
みんな応援しているよ。



主な職種は、農業系事業、介護事業、各種製造業、サービス業などだ。
現在の職員は、令和8年4月1日、油木高校へ通っていた新卒生が入組式を迎えたため、女性5人、男性1人、事務局員1人の7人である。
前出の新卒採用者は、福山市から油木高校に通われていた女子高生で、在学中から農業に興味を持っておられた。起業する前に、事業組合を利用して、経験を積まれる予定である。

こんなことが決まったよ!!

主なもの

議員発議

- ・一般会計予算執行に対する付帯決議（詳しくはP11）
- ・健康長寿のまちづくり推進条例の制定
町民が一生涯、心身ともに健やかで生きがいを持って暮らせる社会の実現を目指す。地域全体で健康を支え合い、住み慣れた場所で自立して長く暮らせる環境を構築する。

全会一致

条例一部改正

付属機関の設置

- ・縮充のまちづくり検討委員会
これからのまちづくり及びコミュニティの在り方を検討する。
- ・町立中学校部活動地域展開等協議会
中学校のスポーツ・文化活動を学校単位ではなく、地域全体で支える体制づくりを目指す。
- ・油木地域交流拠点施設（リ・クリエイト・ベース）管理条例の一部改正
内 容：無料としていた特例を終了し、適正な使用料を徴収する。
料金例：ものづくりスペース（1日2,250円、1月45,000円）
コワーキングスペース（1時間100円）など。
- ・各施設の廃止
対 象：光信交流体験農園、神石高原町共同育苗場、帝釈峡スコラ高原資料展示施設
理 由：維持が困難で、利用者減少が主な理由。廃止後は「普通財産」として、より有効な活用方法を模索する。

全会一致

全会一致

全会一致

全会一致

人事

- ・人権擁護委員候補者の推薦
内 容：現委員の小坂依文（こさか よりふみ）氏を再任するため推薦
任 期：令和8年7月から3年間

全会一致

対話集会のご案内

皆様のご参加を
心よりお待ちしております

町民の皆様との意見交換および交流を目的とした対話集会を開催いたします。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご来場ください。

- 日時：2026年5月29日（金曜日）午後7時～9時
- 場所：神石高原町役場 本庁舎（1階大集会室）
- 内容：第1部：議会報告
第2部：ご参加の皆様と自由に意見交換できる集い



その他 総務文教常任委員会との集会（社会福祉協議会・教育委員会を対象）
産業建設常任委員会との集会（商工会・農業委員会を対象）も計画しています。

まちの声

議会クイズの回答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

● 移住者支援策について検討してほしいです。
(川崎市)

● 色々と考えてくださって有難うございます。
(福永)

● 挑戦のまち神石高原町の活力や結束力に学ぶところが多いと感じています。御誌の情報発信を毎回、楽しみにしています。
(高梁市)

● 農業経営で補助金・団体・法人等ばかりでなく個人経営にも考えて欲しい。法人等是不便な所は相手にしてもらえない。我々、小農家もいるから荒廃地が少しでも少ないのではないだろうか。
(阿下)

● ローソンの階段の隣にスロープと手すりの設置を希望したい。
(阿下)

● エコノミカフエ気になっていたので、写真を見て行きたくまりました。
(古川)

第68回 議会クイズ
GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- 1 令和8年度一般会計当初予算〇〇〇億2000万円
- 2 ふれあいタクシー事業 5月1日から利用 900円から〇〇〇〇円に
- 3 〇〇〇ルーシブ保育

● 応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。応募は、1人・1通に限らせていただきます。

● あて先

〒720-1522 神石高原町小畠1701番地
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

● FAX 0847-85-4201

● メールアドレス

jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

● 締め切り

- ・はがき 令和8年6月5日(金)消印有効
- ・メール 令和8年6月5日(金)17時締切

● 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。
皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- 1 12月補正予算 2億②①⑧7万円
- 2 行(財)政改革調査特別委員会
- 3 やま(ひ)こローソンの改修

第67回 議会クイズ当選者

神石地区 藤井 睦子 さん

おめでとうございます!

表紙の紹介

福山シティFCメンバー油木高校に入学

神石高原町と福山シティFC、マサーントとの連携により実現したもので、佐賀・山口・大阪・京都・和歌山・香川など県外から8人、福山・尾道・三原など町外から4人、合わせて12人の新入生が県立油木高等学校に入学されました。

全国的に出生率が下がっている中、令和7年の町内出生者数は17人でした。地元からの入学率が60%前後なので、18年後には、地元出身の油木高生は、10人となる見込みでした。

①名前 ②出身地 ③ゼッケン ④メッセージ



①金安 徠夢 (かねやす らいむ)
②山口 ③9番
④たくさんゴール決めます。



①仲田 悠星 (なかた ゆうせい)
②大門 ③11番
④最後まで諦めずに戦うのでよろしくお願いします。



①神谷 琥羽 (かみや こう)
②和歌山 ③7番
④トップチーム昇格目指して頑張ります。



①宮本 大登 (みやもと だいと)
②尾道 ③15番
④プロ目指して頑張ります。



①川本 幸空 (かわもと こう)
②佐賀 ③10番
④福山シティU18として全力で戦うので応援よろしくお願いします。



①中江 頼安 (なかえ らいあん)
②三原 ③13番
④諦めずに頑張ります。



①大西 壮 (おおにし そう)
②京都 ③18番
④何事も全力で頑張ります。



①吉岡 琉人 (よしおか りゅうと)
②大阪 ③6番
④精一杯頑張るので応援よろしくお願いします。



①深田 蒼羽 (ふかだ あおば)
②大阪 ③14番
④熱いプレーで必ず勝つので応援よろしくお願いします。



①深田 大地 (ふかだ だいち)
②大阪 ③2番
④闘志あふれるプレーで頑張ります。



①奥田 達也 (おくだ たつや)
②三原 ③8番
④3部昇格目指して頑張ります。



①児山 藍士 (こやま あいと)
②香川 ③4番
④チームと将来のために日々全力で頑張ります。

神石高原中学の学生寮の利用者が少なくなったこと、食事などの賄をするのが難しくなったことなどで、神石高原寮が閉寮となったこともあり、県立油木高等学校の存続問題を合わせて検討した結果、福山シティフットボールクラブのユース生を受け入れることにしました。

練習の拠点となるのは、旧油木中学校のあった場所に、人工芝で公式戦のできるグラウンドを整備、ネット・フィールドとして『マサーント・フィールド』として使用できるようになりました。

生徒は皆明るく、これからの神石高原町をきつと盛り上げてくれるでしょう。チームへのインタビュウ時に、生徒の生活をサポートされている寮母の町田博美先生に抱負を伺いました。「生徒には、サッカーだけでなく、自身で自ら考え行動できる『自力』をつけた大人になり巣立たせたい。」と話されたのが印象的でした。

現在お住いの住民に不便と感せず、これからも町が持続できるようにする。行財政改革は「公共の福祉」の天秤にかけ慎重・大胆な決断が必要である。(善)

編集後記



議会広報常任委員会
委員長 小川 善久
副委員長 柏床 由夫
委員 林 憲志
委員 藤井 潤子
委員 上原 伸一

発行責任者 議長 橋本輝久
住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-189-1334
FAX 0847-185-4201